



MGS file player 取扱説明書

目次

動作環境	p.1
起動方法	p.2
操作方法（キーボード）	p.3
操作方法（ジョイパッド）	p.4
画面表示（1）	p.5
画面表示（2）	p.6
その他	p.7
ライセンス	p.8

動作環境

MGSPIは、MGSDRVによるMGSファイル再生を支援する再生ソフトです。
動作には、最低限下記的环境が必要です。

本体	MSX1以上
メモリ	MemoryMapper対応RAM 224KB以上
必須OS	MSX-DOS2 または NextorDOS
必須ソフト	MGSDRV v3.20以降

下記を推奨環境としています。

本体	MSX1
メモリ	MemoryMapper対応RAM 224KB以上
必須OS	NextorDOS v2.1.0以降
必須ソフト	MGSDRV v3.20以降
音源	スナッチャー/SDスナッチャー サウンドカートリッジ MSX-MUSIC相当音源
その他	SDカード/CFカードなどのフラッシュメモリストレージ

起動方法

DOSのコマンドプロンプトから、下記の順でコマンドを実行してください。

A:¥> MAINROMP

A:¥> MGSDRV /Z

A:¥> MGSP

上記の3つのコマンドファイルと、KFONT.BIN に環境変数 PATH が通って
なければなりません。

操作方法(キーボード)

↑	ファイル選択バーを上へ
↓	ファイル選択バーを下へ
←	ページアップ
→	ページダウン
-	一番上のファイルへジャンプ
+	一番下のファイルへジャンプ
F9, HOME	動作モード変更 (Normal→Random→Repeat→Normal)
F1, SPC, RET	ファイル選択バーの位置の曲を再生, Directoryへ移動
F10, ESC	終了
F6, P	メモリ上に読み込まれているファイルを再生
F7, INS	音量を下げる
F8, DEC	音量を上げる
Z	ループ回数を減らす
X	ループ回数を増やす
N	ディレクトリエントリ順にソート (ディスクに書き込まれた順)
T	曲名順にソート
E	ファイル名順にソート
F2, S	再生停止
D	表示切り替え (曲名表示 → ファイル名表示 → 曲名表示)
F3, F	フェードアウトして次の曲へ
F4, BS	一つ上のディレクトリへ移動
F5, H	ヘルプ表示
1~8	ドライブ変更 (A: ~ H: に対応)

操作方法(ジョイパッド)

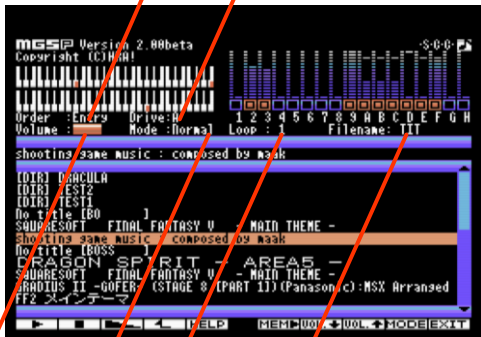
↑	ファイル選択バーを上へ
↓	ファイル選択バーを下へ
←	一つ上のディレクトリへ移動
→	ファイル選択バーの位置の曲を再生, Directoryへ移動
A + ↑	ページアップ
A + ↓	ページダウン
A + ←	音量を下げる
A + →	音量を上げる
B + ↑	ループ回数を減らす
B + ↓	ループ回数を増やす
B + ←	再生停止
B + →	メモリ上に読み込まれているファイルを再生
A + B + ↑	終了
A + B + ↓	フェードアウトして次の曲へ
A + B + ←	ディレクトリエントリ順にソート (ディスクに書き込まれた順)
A + B + →	曲名順にソート

A, Bボタンはシフトキー扱いです。A + ← のような操作は、Aを押しながら←を押す操作になります。

画面表示(1)

ファイル一覧のソートの種類

現在のディスクドライブ



音量

動作モード

ループ回数

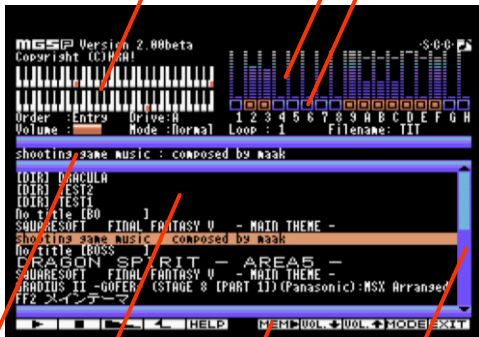
再生中の曲のファイル名

画面表示(2)

鍵盤表示 (上段が低音, 下段が高音)

各ch.のレベルメーター

各ch.のON/OFF表示



ファイル一覧

ファンクションキー

再生中の曲名

スクロールバー

その他

MGSPの動作には MGSDRV v3.20以降が必要です。
下記のサイトで最新版が配布されています。

<https://gigamix.hatenablog.com/entry/mgsdrv/>

MGSPの一次配布サイトは下記になります。

<http://hraroom.s602.xrea.com/msx/software/mgsp.html>

License

Copyright (C) 2020 Takayuki Hara (HRA!)

All rights reserved.

<http://hraroom.s602.xrea.com/msx/software/mgsp.html>

本ソフトウェアおよび本ソフトウェアに基づいて作成された派生物は、以下の条件を満たす場合に限り、再頒布および使用が許可されます。

1. ソースコード形式で再頒布する場合、上記の著作権表示、本条件一覧、および下記免責条項をそのまゝの形で保持すること。
2. バイナリ形式で再頒布する場合、頒布物に付属のドキュメント等の資料に、上記の著作権表示、本条件一覧、および下記免責条項を含めること。
3. 書面による事前の許可なしに、本ソフトウェアを販売、および商業的な製品や活動に使用しないこと。

本ソフトウェアは、著作権者によって「現状のまま」提供されています。著作権者は、特定目的への適合性の保証、商品性の保証、またそれに限定されない、いかなる明示的もしくは暗黙な保証責任も負いません。著作権者は、事由のいかんを問わず、損害発生の原因いかんを問わず、かつ責任の根拠が契約であるか厳格責任であるか（過失その他の）不法行為であるかを問わず、仮にそのような損害が発生する可能性を知らされていたとしても、本ソフトウェアの使用によって発生した（代替品または代用サービスの調達、使用の喪失、データの喪失、利益の喪失、業務の中断も含め、またそれに限定されない）直接損害、間接損害、偶発的な損害、特別損害、懲罰的損害、または結果損害について、一切責任を負わないものとします。

Note that above Japanese version license is the formal document.
The following translation is only for reference.

Redistribution and use of this software or any derivative works,
are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Redistributions may not be sold, nor may they be used in a commercial product or activity without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS
"AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT
LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS
FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE
COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING,
BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER
CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN
ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE
POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.